

令和元年度の管理運営状況（東京武道館）

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等
管理状況	適切な管理の履行	施設の提供について	「武道振興の拠点」として、質の高い大会開催と成功に貢献 ・全国大会などの多様な大規模武道大会をより多く開催できるよう調整 ・主催者と開催前に密な打合せを実施し、円滑な大会運営に向けてサポート
		施設・設備の保守点検	安全・安心、快適な利用に向けて取組 ・館内スタッフによる連絡会を定期的に行い、情報共有と修繕等の検討を実施 ・監視カメラ修繕、経年劣化があった巻わら練習場床の張替え等を実施
	安全性の確保	防災への配慮・緊急時対応	危機管理及び災害対応 ・台風19号発生時に避難所として施設を提供し、災害時対応を実施 ・東京2020大会練習会場となるため、地元警察署とテロ対応訓練の実施について調整
利用の状況	個人利用者数	高い水準の利用者数を維持 ・新規にトレーニングルーム専用WEBサイトを立ち上げるとともに、ツイッターでの広報を継続して実施し、認知度の向上を図った。 ・早朝開館試行における広報展開が認知度向上をもたらし、利用者数増加の一因となった。	
	団体利用稼働率	高い水準の稼働率を維持 ・優先受付での綿密な利用日調整、大規模大会の開催 ・定期的利用団体に施設空き情報を発信し、継続的な利用を促進 ・平日利用が想定される学校運動会や運動部活動、チーム・サークル等への継続的なPR	
事業効果	スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況	事業の取組み	計画に基づき着実に実施し、武道・スポーツの普及振興に貢献 ①スポーツ振興事業……33事業（うち5事業は新型コロナウイルス感染防止の為に中止） ・武道系部活動合同稽古等の青少年向け武道稽古、働き盛り世代向けの武道稽古、子供や高齢者等の武道体験、各種武道の指導者育成など、武道に親しむことができる機会を提供 ②自主事業……58事業 ・「有名選手指導者ふれあい事業」「U-18将棋スタジアム」「ジュニア囲碁パーク」を実施し、武道、伝統文化に親しむ機会を提供 ・スタジオプログラム(55メニュー、1,689回実施)を展開し、スポーツ実施率の向上に寄与 ③体育の日記念事業……延べ7,300人近くの参加者実績 ・子供の武道体験など多彩な体験機会を提供し、広く武道・スポーツに親しむ機会を提供 ・柔道メダリスト、空手道特別ゲストによる指導や演武披露、パラリンピック種目の体験・写真パネル展示等を実施し、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に寄与
		サービス向上に向けた取組	令和元年度の取組 ・トレーニングルーム早朝開館の試行実施 ・トレーニングルーム冷水機を車いす利用者対応のものに更新 ・ツイッターで施設の魅力を発信し、来館者の利用を促進（フォロワー数約2,600件）
	利用者ニーズの把握	多様な方法でニーズを把握し、業務改善に取組 ・利用者満足度調査結果 9割超が満足と高評価 ・館内各所に御意見箱を常時設置し、意見収集によりニーズを把握し、改善に取組 ・利用者からの意見・要望とそれらに対する回答を館内に掲示	

トレーニングルーム 個人利用者数の推移(無料利用者を含む)					(人)
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間利用者数	66,062	69,013	69,330	77,749	76,150

大武道場 稼働率の推移					(%)
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
稼働率	85.4	87.3	86.8	89.2	85.1